

登録コード	A3592459	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅱ					担当教員	阿久津 雅子	
英文授業名	PresentationⅡ							
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	自身の実験計画や，研究によって生じたデータをまとめ，プレゼンテーションを行う							
(5)授業計画	1. 自分の実験計画に関してまとめる 2. 研究によって生じたデータをまとめる 3. 上記に関して，研究室で発表を行う 最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします							
(6)自主学習の指針	相手に分かりやすいスライドの作成や，発表方法に関して模索する							
(7)成績評価の基準	1. 自分の研究に関して計画を立てられる 2. 研究によって生じたデータをまとめる 3. 上記に関して，スライドを作成し，相手に伝わりやすい発表を行える *上記それぞれに関して，評価を行う							
(8)事前事後学習の内容	「自主学習の指針」と同様							
(9)テストやレポートの予定	プレゼンテーションを行う							
(10)成績評価の方法	1. 自分の研究に関して計画を立てられる（30%） 2. 研究によって生じたデータをまとめる（30%） 3. 上記に関して，スライドを作成し，相手に伝わりやすい発表を行える（40%）							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時. 園芸学研究室 阿久津 雅子 akutsu@shinshu-u.ac.jp							
(12)履修上の注意	特になし							
【教科書】	なし							
【参考書】	なし							